

MYCOM Meeting for Youth COMmunity 2005

第6回AI若手の集い発表・参加募集 ～社会の中心で、AIをさげぶ～

MYCOMではAIを中心とした様々な研究テーマに関して、若手ならではの大胆な発表と忌憚りの無い議論が繰り広げられてきました。特に、第3回開催からはサマースクールと合体したことによって、AI以外の工学・自然科学・社会科学・人文科学・デザインなどをバックグラウンドに持つ研究者も多く流入し、異分野交流の一大発展場として認知されるに至っています。

昨年、節目となる5回目の開催を盛況に終えたMYCOMは、第6回目の今年、新たなテーマに挑戦します。それは、「参加者各人の研究や関心が、社会の中でどのように位置づけられるのか？」を問い直すことです。「社会での位置づけを問う」と言っても即物的に社会に役立つか役に立たないかを格付けするという意味ではありません。自分の研究スタンスと社会との関係を、心を無にして真摯に見つめ直そうということです。この試みのために、日本最大の禅寺である大本山妙心寺の宿坊という絶好の場所を、研究発表と議論の場として用意いたしました。

さらに、今回は招待講演者の出口弘先生（東京工業大学大学院）に、わたしたちとの夜を徹した議論への参加をいただけることになりました。出口先生は、エージェントベース社会システム科学の創始者のお一人であり、社会科学とシステム科学の分離融合領域にエージェント技術を軸とした新たな学問領域の創出を実践されながら、ご自身の研究や関心の「社会での位置づけ」を問い続けてこられた方です。わたしたちの今回の試みでは、その哲学から数学、社会科学、システム科学に至る様々な学問領域への深い造詣をご披露いただき、キーパーソンとしての役割を果たしていただきます。

MYCOM2005では、AI研究に関心を持つ学生、大学・企業の“若手”研究者の方で、ご自身の研究や関心をこのような場に投じ深く議論してみたい方々の積極的なご参加をお待ちしております。

招待講演

招待講演者：東京工業大学大学院 出口弘

演題：「人工知能研究者が社会に関する視座を確立するために」

社会的な問題を研究対象としながら、社会に関する視座を確立しようとし狭い領域で閉じこもったままの研究者になってはいけない。せつかく禅寺での開催ということもあるので、この一期一会を利用して、それを喝破し、いかにその狭い井戸から飛び出すかをともに考えたい。

社会を単なるエージェントゲームの対象扱いしない / 社会にコミットしようと思うならそれ相応の覚悟をする / 数理、論理、社会学、哲学、それらを体系化できてこそ知能ではないか？ / 学者になりたいのか？問題解決者になりたいのか？ / 学問をどう考えるのか？ / 時間がかかることをする必要がある / 既存の理論にこちょこちょあてはめるのではなく、自分で理論を作る / 1を10にするんじゃなくて、0から10をフルスクラッチでつくる / システム屋として全体を見る / 種を仕込んでから10年あたためることが重要 / 若手こそそういうことを真剣に考えたい。

開催要項

- 主催：人工知能学会
日時：2005年6月3日（金）13:00から4日（土）17:00まで
会場：京都 妙心寺大心院（JR花園駅より徒歩8分、<http://www.myoshin.com/>）
募集要件：AIに関わる研究テーマであれば、制約はありません。AI以外の工学・自然科学・社会科学・人文科学・デザインなどの異分野も歓迎いたします。研究の意義と研究目標を、領域外の研究者にも分かりやすく記述して下さい。研究のアイデアや考え方に対するポジションペーパーや進行中の研究に対する発表も歓迎いたします。ご自身の研究が「社会の中でどのように位置づけられるのか」についてを、まとめに加えて言及ください。
- 発表時間：1件20分程度：10分発表、10分程度議論
(MYCOMでは従来long, shortの発表区分を設けていましたが、本年はshort発表に一本化し、議論に重きを置きます。時間は発表者数等の都合により変更になる場合があります。)
- 発表資格：登壇者は主催学会の会員に限ります。また、当日入会していただいても構いません。
申込要項：講演者は、1ページ目の上部に、(1) 題目、(2) 筆者氏名（登壇者に*印）、(3) 所属機関名、所在地、(4) 連絡先氏名、住所、Tel, Fax, E-mailアドレス、URLを記入したA4版1～2ページのアプリストラクト（図表を含む）のPDFファイルを電子メールでmycom2005-app@pvq.jpまでお送り下さい。Subjectは必ず「MYCOM2005 application」をお願いいたします。
また、MYCOMでは発表をせずに議論のみをしたい一般参加者も募集します。ただし、申込者数が多い場合には、発表参加者を優先させていただきます。一般参加希望の方は、2005年4月21日までに、mycom2005-app@pvq.jpへ、Subjectを「MYCOM2005 application」にして「一般参加希望」とお知らせください。参加費については、発表参加者と同額です。※社会人・学生の別もお書きください。
- 申込締切：2004年4月21日 プログラムの編成上、（締切前であっても申込数が40件に達した時点で受付を終了します。あらかじめ御了承ください。）
- 採択通知：発表論文の内容を実行委員会で審査の上、結果を実行委員長より4月末までに通知いたします。
最終原稿：発表が採択された場合、指定した書式に従い執筆した最終原稿（A4版2枚以上4枚以内）を、MYCOM2005当日に、各自40部程度コピーして持参していただきます。また後日、予稿集をオンライン・プロシーディングとして公開する予定です。
- 参加費：宿泊費：8,000円（1日目夜、2日目朝・昼の3食を含む）
参加費：正会員、非会員：4,000円、学生会員：3,000円
- 問い合わせ先：塩瀬 隆之（第6回MYCOMプログラム実行委員長）
京都大学大学院情報学研究科 Email: shiose@i.kyoto-u.ac.jp

なお、MYCOM2005の最新情報は、<http://www2.create.human.nagoya-u.ac.jp/mycom2005/> をご覧ください。